

# 14 旧山上宮坂製糸所

事務所・工場棟・再繰工場棟・居宅



創業は明治7年、座繰り製糸にはじまり、大正～昭和の全盛期と戦後の復活期に中規模の製糸工場として発展しました。「櫛御殿」とよばれ、諏訪じゅうから見に来る人がいたという居宅は、明治26～27年頃の建築で当時の隆盛がしのばれます。同敷地内には昭和2年に建築された事務所を始め、一連の工場体系が残され製糸工場の操業風景を想像することができます。

外観のみ見学可